平成15年度

市内遺跡発掘調査報告書

2004.3

前橋市教育委員会

例　　　言

1．本書は、平成１５年度に埋蔵文化財の確認調査を実施した市内遺跡発掘調査（埋蔵文化財発掘調査事業）の概要をまとめたものである。

2．本事業にかかわる経費は、平成１５年度文化財関係国庫補助事業として、国庫補助・県費補助及び市費によって計上された。

3．確認調査は、前橋市教育委員会 文化財保護課 埋蔵文化財係が担当・実施した。

文化財保護課長　高橋　正男

埋蔵文化財係長　眞塩　欣一

調 査 担 当 者　高山　剛、齊木　一敏、鈴木　雅浩、小峰　篤、大﨑　和久、内藤　孝

4．確認調査にかかわる記録類、出土遺物は前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。

5．本書中に使用している火山噴出物の指標は以下のとおりである。

Ａｓ－Ｂ（浅間Ｂテフラ）　：天仁元年(1108年)、浅間山噴火に伴い噴出

Ｈｒ－ＦＰ（榛名二ツ岳伊香保テフラ）　：６世紀中葉、榛名山二ツ岳形成時に噴出

Ｈｒ－ＦＡ（榛名二ツ岳渋川テフラ）　：６世紀初頭、榛名山二ツ岳形成時に噴出

Ａｓ－Ｃ（浅間Ｃテフラ）　：４世紀初頭、浅間山噴火に伴い噴出

6．確認調査位置図は前橋市現形図（Ｓ＝1/55,000）を縮小して使用した。各確認調査の位置図は前橋市全図（Ｓ＝1/10,000）を使用した。

目　　　次

例　言

目　次

1．前橋の地形・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2．確認調査地一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

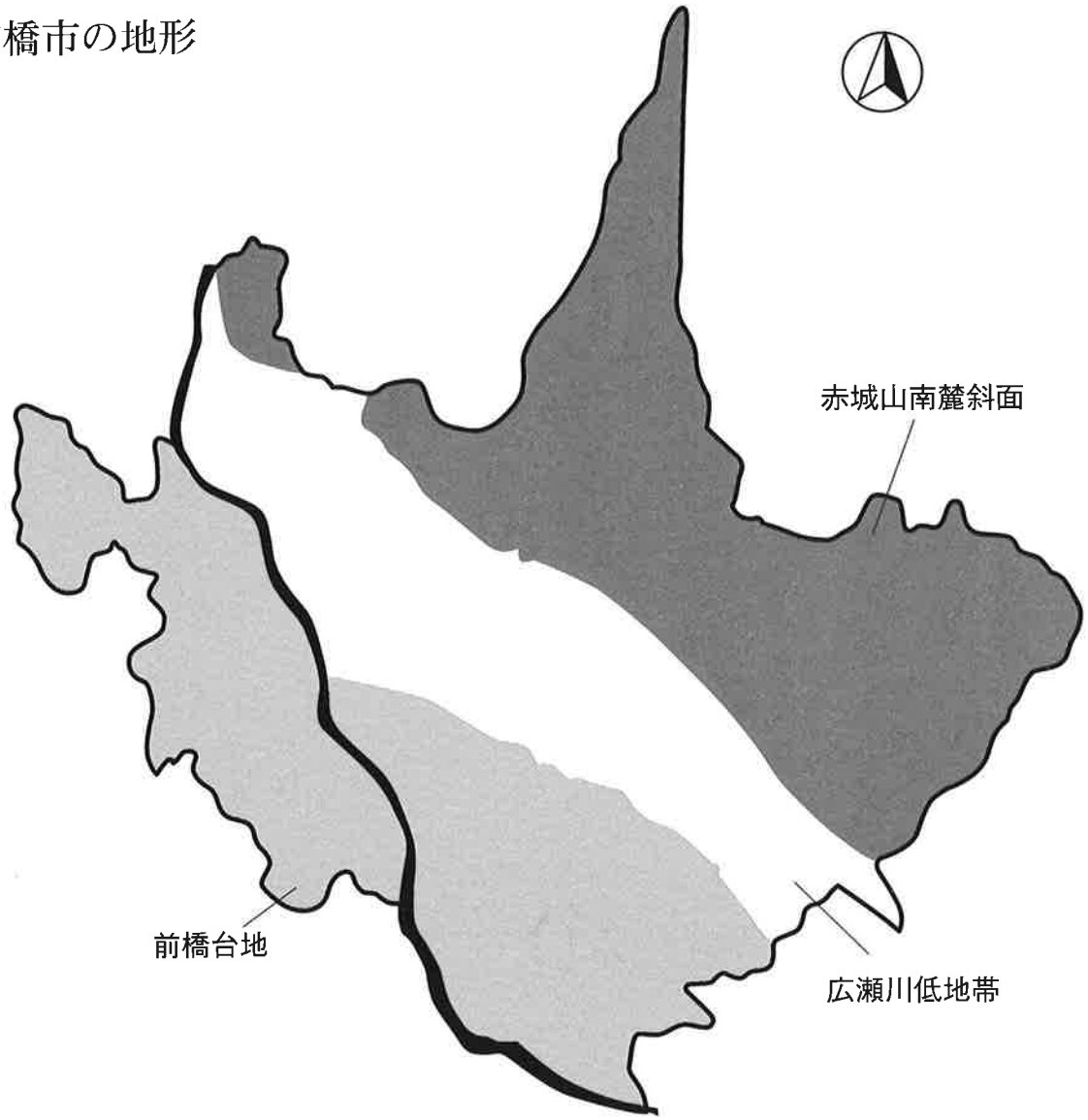
3．確認調査地位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

4．平成15年度確認調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

5．各確認調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

6．写真図版・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

1. 前橋市の地形



前橋市は、地形区分の上では「赤城山南麓斜面」、「前橋台地」、「広瀬川低地帯」に分類できる。

「赤城山南麓斜面」は、市の北～東部に位置し、南に緩傾斜する赤城山の裾野である。赤城山の山体崩壊によって形成された流山や中小河川によって形成された台地と谷地が多くみられる地域である。台地では古墳や集落跡が発見される可能性が高く、谷地では水田跡が発見される場合がある。

「前橋台地」は、市の西～南西部に位置し、広瀬川低地帯より一段高い台地状の地域である。北西端にあたる部分は榛名山東麓斜面との移行部であり、南東に緩傾斜している。台地面は詳しく見れば多少の起伏をもっているが、ほとんど平坦である。台地や微高地では古墳や集落跡が、低地では水田跡が発見されている。

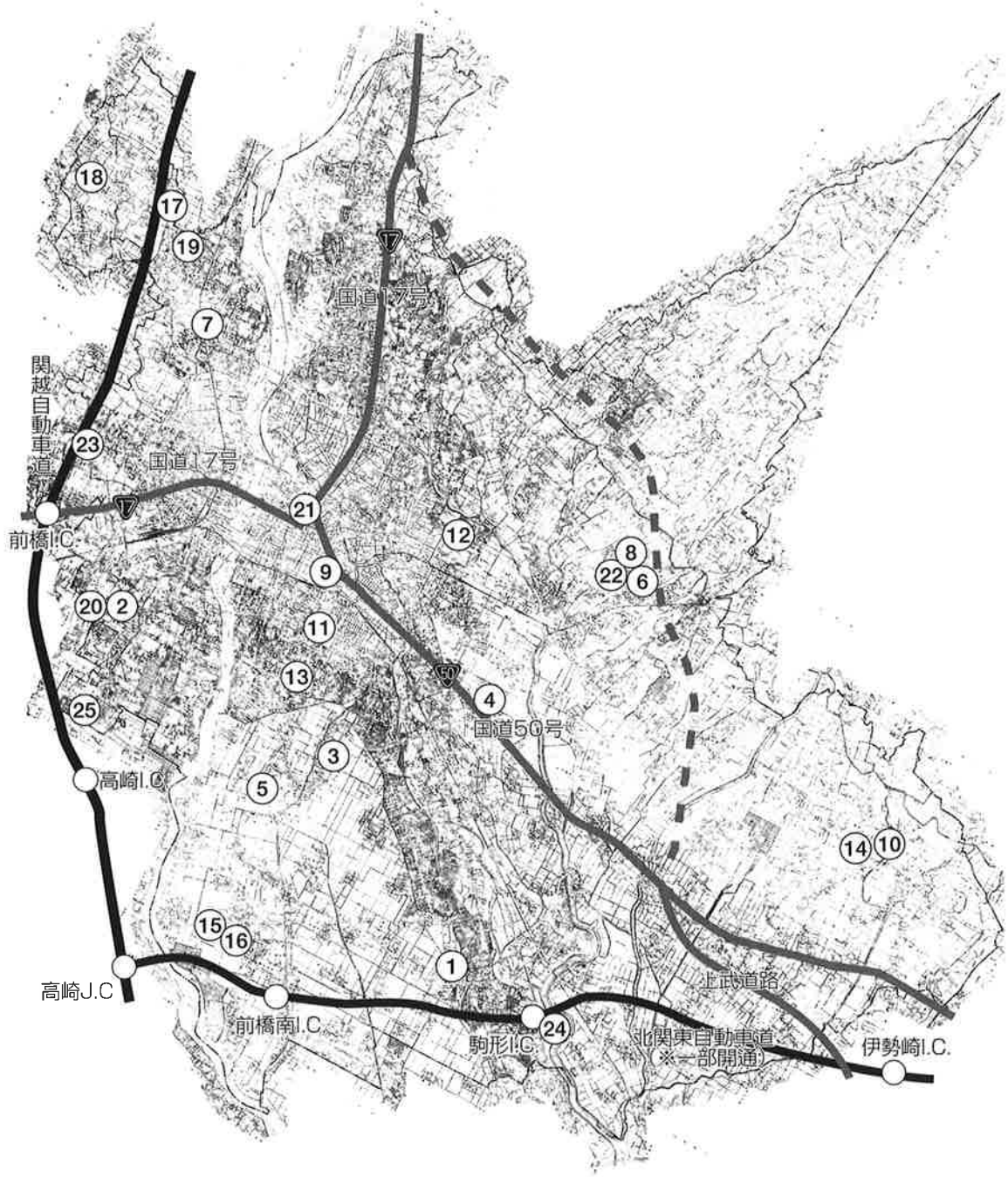
「広瀬川低地帯」は、市の北西部から南東部に帯状に位置し、赤城山南麓斜面の崖と前橋台地北東縁の崖に挟まれた一段低い地域であり、旧利根川の氾濫原である。低地帯の面を詳しく見ると必ずしも平坦ではなく、各所に自然堤防や微高地が存在する。この地域は遺跡が発見される可能性の低い地域とされてきたが、微高地に集落跡、低地に水田跡が発見される場合がある。

2. 確認調査地一覧表

[No.は試堀調査実施日順]

No.	所　在　地	開発面積(㎡)	開発原因	調　査　日	試　掘　調　査　結　果
1	東善町47-5・48-3	3,350	農産物加工場建設	H15.4.9	遺構は検出されず。
2	箱田町字道下40-1	2,451	宅地造成	H15.5.1	平安時代の水田跡（箱田道下遺跡）
3	朝倉町249-1	3,121	診療所建設	H15.5.14	遺構は検出されず。
4	野中町186-1・187	2,922	庫裡建築	H15.5.13	遺構は検出されず。
5	上佐鳥町772	1,196	老人介護施設建設	H15.6.9	平安時代の水田跡（上佐鳥中原前Ⅱ遺跡）
6	上泉町1858-2ほか	5,725	研修所建設	H15.6.24	遺構は検出されず。
7	総社町総社1838-1	730	携帯電話用無線基地局建設	H15.6.26	遺構は検出されず。
8	上泉町1870-1･2	3,707	老人介護施設建設	H15.6.30	縄文時代の住居跡（上泉風袋遺跡）
9	表町二丁目18-2	1,267	老人介護施設建設	H15.7.11	遺構は検出されず。
10	西大室町1727-1・1728-2	2,012	レストラン建設	H15.7.31	遺構は検出されず。
11	文京町二丁目1-53	94,382	商業施設建設	H15.8.11	遺構は検出されず。
12	下沖町125	4,272	老人介護施設建設	H15.8.19	遺構は検出されず。
13	天川原町27-1・28	2,584	店舗建設	H15.10.14	平安時代の水田跡（天川原東ノ下一遺跡）
14	西大室町684-1	2,666	宅地造成	H15.10.24	遺構は検出されず。
15	亀里町887ほか	10,377	ビジネス･センター建設	H15.10.27	平安時代の水田跡（亀里油免遺跡）
16	鶴光路町56-5	394	道路拡幅工事	H15.11.5	平安時代の水田跡（鶴光路練引Ⅱ遺跡）
17	上青梨子町字尾影116	2,347	特別高圧送電線鉄塔建設	H15.11.12	遺構は検出されず。
18	清野町字関南146-3ほか	2,095	診療所建設	H15.11.14	遺構は検出されず。
19	総社町高井字十郎89-1ほか	3,355	店舗建設	H15.11.18	奈良・平安時代の住居跡（総社高井十郎Ⅱ遺跡）
20	箱田町字西田156ほか	6,502	宅地造成	H15.11.19	遺構は検出されず。
21	千代田町二丁目1	1,689	マンション建設	H15.12.1	遺構は検出されず。
22	荻窪町100-1・101-1	1,547	携帯電話用無線基地局建設	H15.12.12	遺構は検出されず。
23	元総社町字弥勤1181-3ほか	2,474	店舗建設	H15.12.18	遺構は検出されず。
24	駒形町字西築場1420-2ほか	1,737	農産物加工場建設	H15.12.19	遺構は検出されず。
25	川曲町509-1ほか	4,400	道路新設工事	H16.2.3･2.4	平安時代の水田跡（川曲地蔵前Ⅱ遺跡）
	合　　計	162,902			

3. 確認調査地位置図



4.平成15年度確認調査の概要

本年度は、２５件の埋蔵文化財確認調査依頼が提出され、市内遺跡発掘調査（埋蔵文化財発掘調査事業）として確認調査を実施した。

確認調査の結果、８箇所で遺跡が発見された。その内、群馬県埋蔵文化財発掘調査基準に基づき工事立合を実施または実施予定の遺跡が４箇所、保存が困難なために２箇所の遺跡については記録保存のための発掘調査を実施した。残りの２箇所については現在協議中である。

5. 各確認調査の結果

1　東善町４７－５・４８－３

開発面積　3,350㎡　開発原因　農産物加工場建設
調査日　平成15年4月9日
調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置し、500m東に韮川が流れ、開発予定地は韮川の自然堤防上と考えられる。周辺部には平安時代の住居跡が約100軒確認された前田遺跡が南東側300mにあり、また開発予定地の南側200mの高崎駒形線を挟んだ向かい側に、平安時代の住居跡が確認された前田Ⅱ遺跡がある。

調査の結果、現地表下約１mは盛土で、周辺部の遺跡で確認されたＡｓ－Ｂがここでは確認できなかった。またトレンチから時代不明の溝跡を地表下1.5mで確認し、土器片１点を検出した。それ以外は明確な遺構は認められず土器片も検出されなかった。

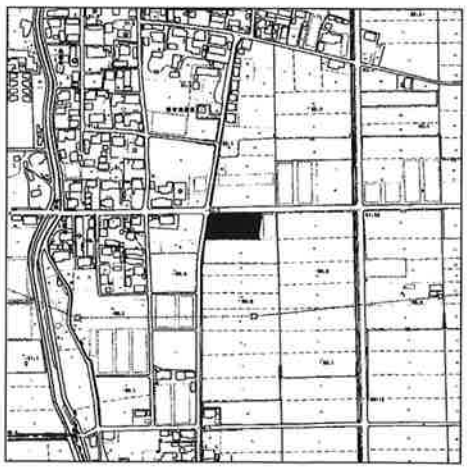
2　箱田町字道下４０－１

開発面積　2,451㎡　開発原因　宅地造成
調査日　平成15年５月1日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。開発予定地周辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされ、開発予定地の約100m西側には、平安時代の水田跡を確認した江田下り柳遺跡がある。

調査の結果、南北方向に設定したトレンチから２箇所で、東西方向に走向する畦畔を確認した。現状保存について協議を行ったが保存が困難であったため、記録保存のため緊急的に畦畔の実測を実施した。
(箱田道下遺跡)

3　朝倉町２４９－１



開発面積　3,121㎡　開発原因　診療所建設
調査日　平成15年５月１４日
調査の概要

本開発予定地は市街地より南東方向へ約４kmの前橋台地上に位置する。開発予定地の東側約１kmの地点には八幡山古墳や古墳時代の住居跡等を確認した後閑遺跡、後閑Ⅱ遺跡、後閑団地遺跡がある。

調査の結果、現地表下約50cmの深さでＡｓ－Ｂを確認した。厚さは約７cmほどで、ほぼ平坦に堆積していた。Ａｓ－Ｂを除去しつつ掘削を進めたところ、土器片数点を検出したが、流れ込みによるものと思われる。東側ほどＡｓ－Ｂの残りは悪く、遺構・遺物は確認されなかった。

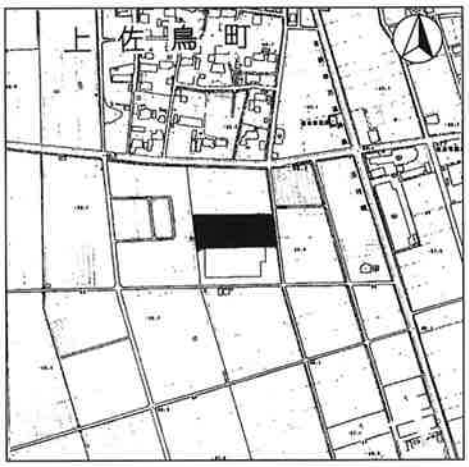
4　野中町１８６－１・１８７

開発面積　2,922㎡　　開発原因　庫裡建築
調査日　平成15年５月13日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川河川域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。開発予定地は中世の野中環濠集落遺構群のほぼ中心地であるため、試掘調査を実施した。

調査の結果、地表下約45cmまではバラスや盛土でその下から直径２～４cm程度の礫が大量に検出し、河川の痕跡が見て取れた。遺構・遺物は確認されなかった。

5　上佐鳥町７７２



開発面積　1,196㎡　　開発原因　老人介護施設建設
調査日　平成15年６月9日
調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置する。１km西には利根川が流れている。開発予定地は平成９年度に発掘調査を実施した上佐鳥中原前遺跡の北側隣接地である。

調査の結果、東西方向に設定した２本のトレンチから南北方向に走向する畦畔を合計５箇所で確認した。現状保存について事業者側と協議を行ったが、事業実施上保存が困難であったため、本年度記録保存のため本発掘調査を実施した。
(上佐鳥中原前Ⅱ遺跡)

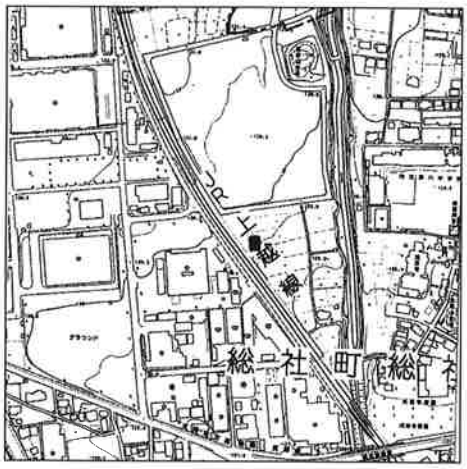
6　上泉町１８５８－２ほか

開発面積　5,725㎡　　開発原因　研修所建設
調査日　平成15年６月24日
調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓斜面に位置する。周辺部には新田塚古墳や縄文時代から中世までの集落跡などが発見された上泉唐ノ堀遺跡などがある。また隣接する五代町でも工業団地造成に伴い発掘調査が行われている。

調査の結果、１号トレンチ東端から西へ約19m地点の地表下約80cmでＡｓ－Ｂの堆積をごく僅かに確認した。２号トレンチでも確認できたが、こちらの堆積もごく一部であった。遺構・遺物は確認されなかった。

7　総社町総社１８３８－１



開発面積　730㎡　　開発原因　携帯電話用無線基地局建設
調査日　平成15年６月26日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。周辺には総社古墳群の宝塔山古墳、蛇穴山古墳、総社二子山古墳、遠見山古墳、愛宕山古墳の５古墳がある。

調査の結果、地表下約20cmは後世の耕作によって削り取られ、その後新たに入れられた土であった。耕作土の下はＨｒ－ＦＰやＡｓ－Ｃを若干含んだ黒褐色粘質土層が堆積していた。トレンチ平面及び断面を観察したが、遺構・遺物は確認されなかった。

8　上泉町１８７０－１・１８７０－２

開発面積　3,707㎡　　開発原因　老人介護施設建設
調査日　平成15年６月30日　７月1日
調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓斜面に位置する。周辺部には新田塚古墳や縄文時代から中世までの集落跡などが発見された上泉唐ノ堀遺跡がある。

調査の結果、３本設定したトレンチのうち１号・２号トレンチからは土器片数点を検出したが、部分的に後世の攪乱を受けていて、明確な遺構は確認できなかった。最も東に設定した３号トレンチの中央部で住居跡と思われる遺構を確認したため、その部分を建物予定地内で拡張して掘削したところ、縄文時代の住居跡１軒を確認した。確認された遺構がこの１軒のみであったため、翌日緊急調査を実施し、住居の測量と遺物の回収を行った。また今後は工事実施時に立合調査を実施することで事業者側と協議を行った。
（上泉風袋遺跡）

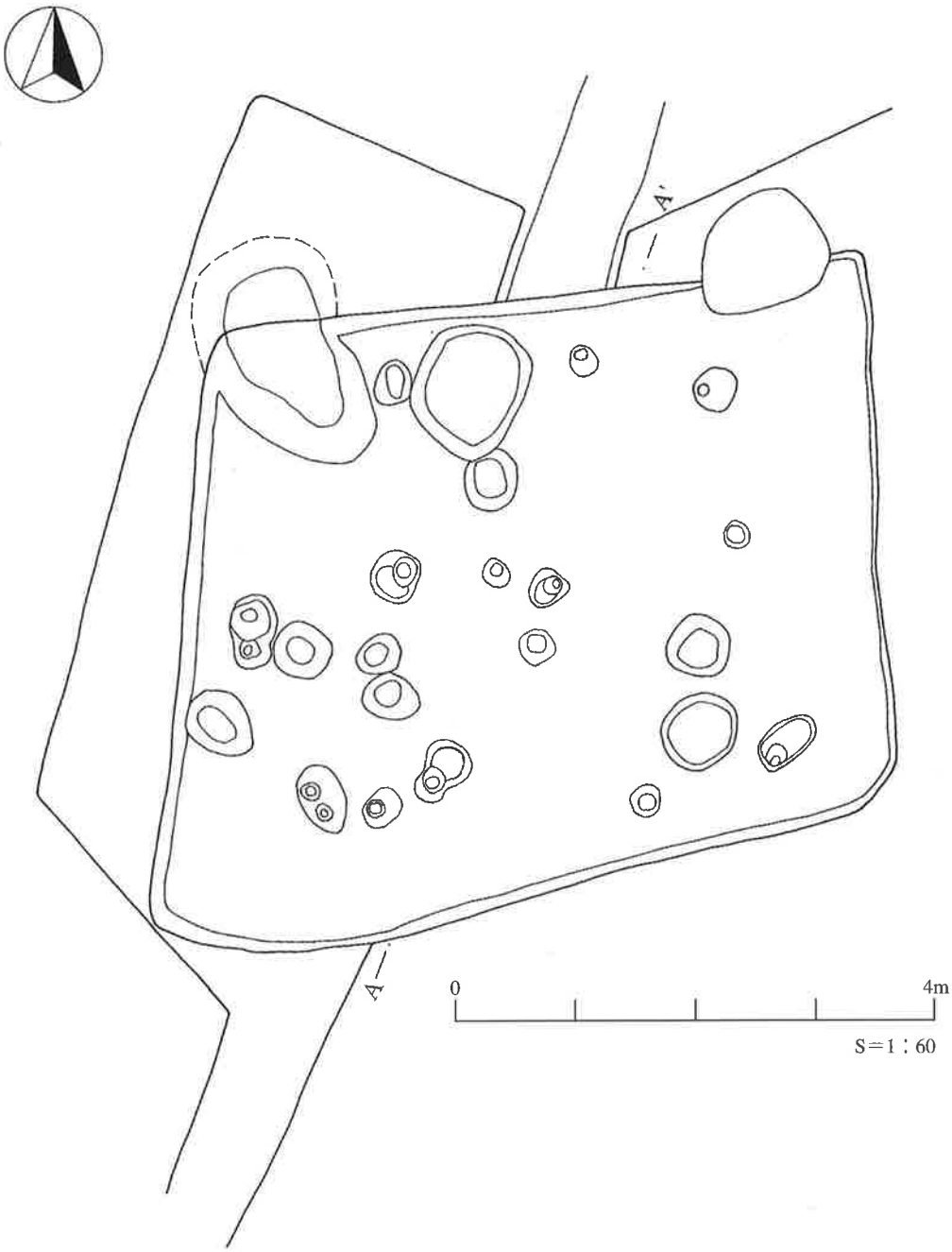
9　表町二丁目１８－２

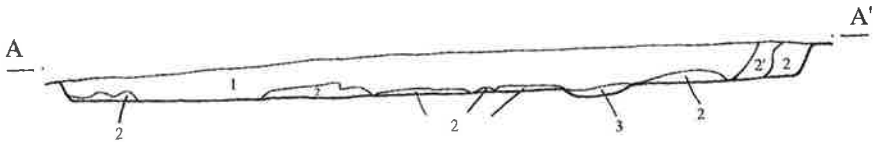
開発面積　1,267㎡　　開発原因　老人介護施設建設
調査日　平成15年７月11日
調査の概要

本開発予定地は、前橋駅の北側約150ｍほどの市街地にある。前橋駅の南約1.5kmには、六供東京安寺遺跡や六供下堂木遺跡など遺跡が集中している地区がある。

調査の結果、１号トレンチ・２号トレンチともに後世の攪乱を受けていたが、トレンチ東端は攪乱を免れていた。２号トレンチ東端から西へ８ｍ付近まで地表下80cmの深さで厚さ７cmほど堆積したＡｓ-Ｂを確認したが、そこ以外はＡｓ－Ｂの堆積は確認されず、遺構・遺物も認められなかった。

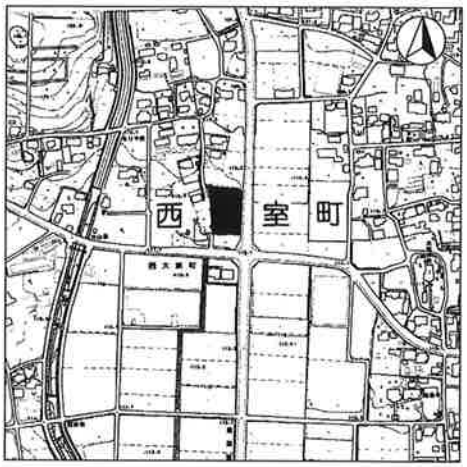
8号上泉町検出住居跡　平面図並びにベルトセレクション断面図





1	にぶい黄褐色粘質土	部分的に明黄褐色土をブロックに含む。 若干のAs－C軽石を含む。
2	明黄褐色微砂	堅く締まる。灰黄褐色微砂が部分的に混入する。
2’	明黄褐色微砂	2層より灰黄褐色微砂の混入度合いが高い。
3	黄澄色微砂	堅く締まる。

１０　西大室町１７２７－１・１７２８－２



開発面積　2,012㎡　　開発原因　レストラン建設
調査日　平成15年７月31日
調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓の舌状台地辺縁部に位置する。開発予定地に隣接している県道宮城前橋線は北宿遺跡であり、東側にある大室公園には国指定史跡の大室古墳群がある。

調査の結果、地表下約30cm～80cmまでは耕作土や盛土で、その下は水性堆積層となった。地表下約50cm程度から湧水が発生した。トレンチ平面及び断面を観察したが、遺構・遺物は確認されなかった。

１１　文京町二丁目１－５３

開発面積　94,382㎡　　開発原因　商業施設建設
調査日　平成15年８月11日
調査の概要

本開発予定地は前橋駅の南東約1kmに位置するダイハツ車体株式会社の敷地内である。周辺部には東側1.5kmに国指定史跡である天川二子山古墳がある。

調査は、ダイハツ側からの資料を基に、過去に構造物の建設が行われていない場所を検討し、その結果現在新車駐車場となっている場所と、工場敷地北西角地緑地帯の２箇所で調査を実施した。

新車駐車場には東西方向に２本の確認トレンチを入れたところ、地表から約80cmほどはバラスや盛土で、客土の直下は褐灰色粗砂層、黄色粗砂層、As－B混じりの黒褐色粗砂層、黒色粘質土層という層序であった。地表下約１ｍで地下水が沸き出す状態で、それはトレンチ掘削底面全体からの湧水であった。１トレンチ断面を精査したところ、落ち込みが確認され、As－Bが堆積しているのが確認できた。全体的に攪乱がひどく、特にトレンチ西側ほど土層は崩れていた。２トレンチでは落ち込みは確認されなかった。工場北西部の緑地帯部分にも確認トレンチを入れてみたが、地表下約80cmまでは以前の構築物の基礎の影響で土層は崩れていた。各トレンチからは遺物は確認されなかった。
今後については、建物解体時に改めて工事立合を実施することで、事業者側と協議を行った。

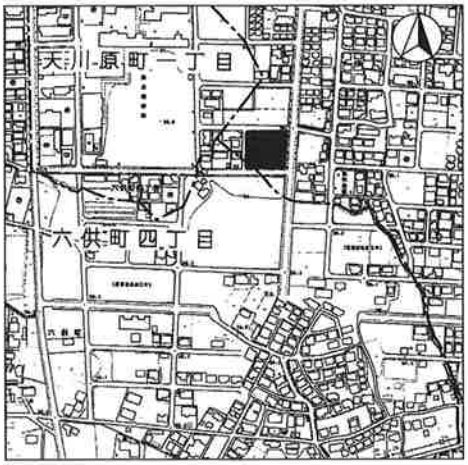
１２　下沖町１２５

開発面積　4,272㎡　　開発原因　老人介護施設建設
調査日　平成15年8月19日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川左岸のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。広瀬川低地帯は、比較的遺跡の少ない地域とされているが、微高地や台地上には遺跡があり、低地でも中州には遺跡が確認されている。

調査の結果、地表下75cmからAs－Bを確認し、その下の黒褐色粗砂層からはAs－C軽石とHr－FP軽石を確認した。さらにその下は暗黄褐色細砂層で、ここからは直径10～20cmの河原石を検出したが、遺構及び遺物は確認されなかった。

１３　天川原町２７－１・２８



開発面積　2,584㎡　開発原因　店舗建設

調査日　平成15年10月14日

調査の概要

本開発予定地は前橋市街地の南東約2.5kmに位置する。周辺部は六供東京安寺遺跡・六供下堂木遺跡など古墳時代から平安時代にかけての遺跡が集中している地区である。

調査は２棟建設予定の店舗部分にトレンチをそれぞれ南北方向に設定して行った。

調査の結果、南北方向に２本設定したトレンチで、現地表下約70cm～80cmの深さからAs－Bの純層を確認した。トレンチ断面及び底面を精査したところ水田畦畔を確認した。しかし、両トレンチの北側は撹乱で土層は破壊されていた。遺物は検出されなかった。この調査の結果、事業計画上遺構面まで影響が及ぶのは店舗基礎部分のみであることが分かり、事業者との協議の結果、店舗基礎部分堀削時に工事立合を実施することを了解して頂いた。

工事立合では、基礎堀削箇所がすでに後世の攪乱を受けていたため、水田畦畔は確認されなかった。

(天川原東ノ下一遺跡)

１４　西大室町６８４－１

開発面積　2,666㎡　開発原因　宅地造成

調査日　平成15年10月24日

調査の概要

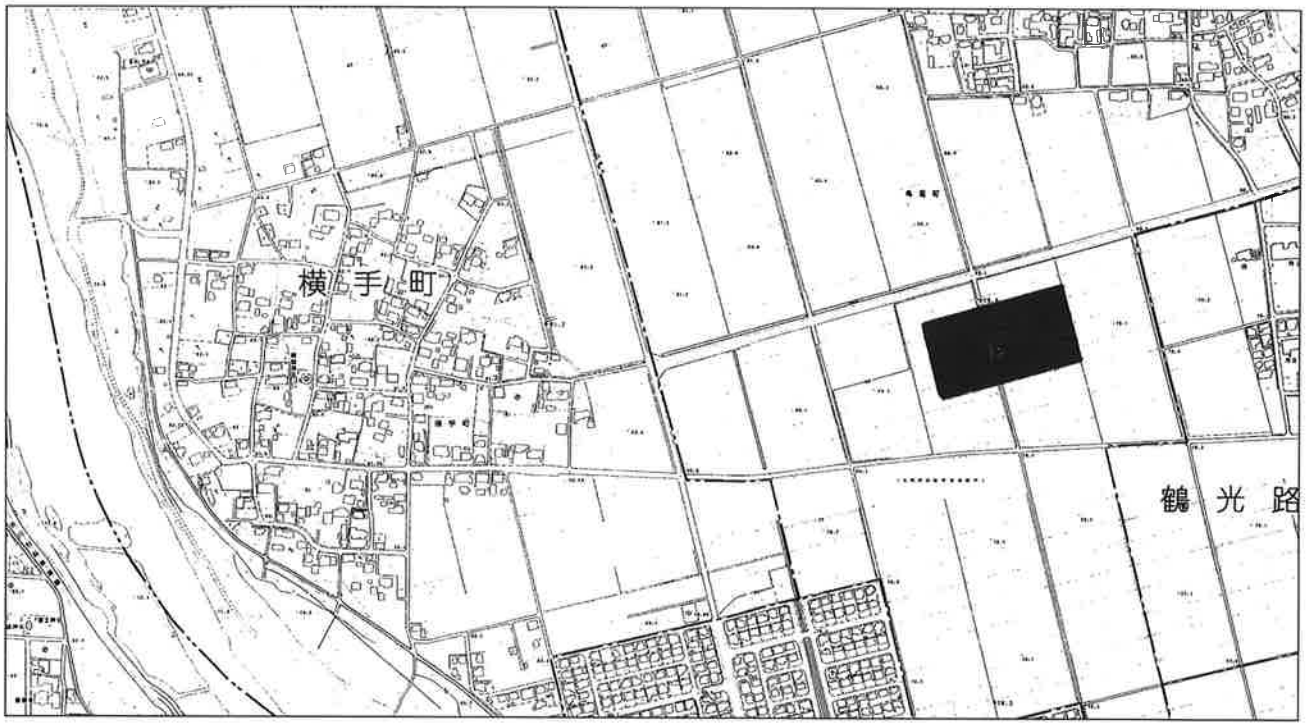
本開発予定地は赤城山南麓斜面の舌状台地辺縁部に位置する。隣接している県道宮城前橋線が北宿遺跡であるほか、大室古墳群も東側約700mにある。

調査の結果、１トレンチで現地表下約1.2mでAs－Bを確認した。層の厚さは平均で７cmほどである。直上には火山灰が平均で４cmほどの厚さで堆積していた。しかし、遺構と思われるものは確認されなかった。２トレンチは全体的に後世の攪乱がひどく、土層は壊されており、遺構は確認されなかった。遺物の検出は皆無であった。

１５　亀里町８８７ほか

開発面積　10,377㎡　開発原因　ビジネスセンター建設
調査日　平成15年10月27日
調査の概要

本開発予定地は前橋市南部の水田地帯に位置する。開発予定地の周辺は古代の区画制度である「条里制」の残る地域とされ、古墳時代から平安時代にかけての水田跡等が確認され調査されている場所である。調査では合計８本の確認トレンチを設定して行った。その結果、部分的に後世の耕作の影響や、河川の氾濫等で削り取られて本来の土層が消失していた場所もあったが、現地表下約40cm～65cm前後の深さから８条（うち１条はトレンチ断面で確認）の水田畦畔が認められた。確認された畦畔は上幅が約20cm～40cm、下幅が約50cm前後、高さは約３cm～８cm程度のものであった。その後、開発者側と協議をした結果、現地表から約１ｍ前後盛土を施し、建物を建設することになった。これにより建築物の基礎部分が現地表面を掘削することにはならず、また建物基礎が総堀りするものではなく、部分的な基礎掘削とする設計に変更され、掘削が入る部分も遺構面からの保護層が保たれることになったため、現状保存が可能となった。現在来年度工事着工に向け、関係機関と調整中である。
（亀里油免遺跡）



１６　鶴光路町５６－５

開発面積　394㎡　開発原因　道路拡幅工事
調査日　平成15年11月5日
調査の概要

本開発予定地は前橋市南部の水田地帯に位置する。周辺部は古墳時代から平安時代にかけての水田跡等が調査されている地域である。

調査の結果、現地表下約40cm～50cmほどの深さからAs－Bが確認された。As－Bの下は黒褐色粘質土となった。トレンチの全長は約94mで、西端から東へ約54m地点から水田畦畔が確認できた。畦畔は全部で４条確認され、すべて北東から南西方向へ走向していた。このことから、本開発場所は遺跡地として認められたが、道路拡幅幅が狭小であるため試掘調査で記録をとり、事業実施の際には工事立合を行う方向で現在協議中である。
（鶴光路練引Ⅱ遺跡）

１７　上青梨子町字尾影１１６

開発面積　2,347㎡　　開発原因　特別高圧送電線鉄塔建設
調査日　平成15年11月12日
調査の概要

本開発予定地は前橋市街地の北西部に位置し、吉岡町との境界付近である。周辺には総社高井十郎遺跡・高井桃ノ木遺跡・高井桃ノ木遺跡等遺跡の分布が多い地域である。

調査の結果、１トレンチ南端部で現地表下約62cmの深さで、As－Bが混入している土層が認められた。その下の黒褐色細砂層で遺構の有無の確認を行ったが、遺構・遺物は認められなかった。１トレンチより３ｍ西側を掘削した２トレンチでも、遺構・遺物は確認されなかった。

１８　清野町字関南１４６－３ほか

開発面積　2,095㎡　　開発原因　診療所建設
調査日　平成15年11月14日
調査の概要

本開発予定地は榛名山南東麓の傾斜地に位置する。開発予定地の周辺は、以前から縄文土器の散布地及び古墳の分布地とされている。

調査の結果、現耕作土の直下からAs－Bを含んだ暗褐色土層を確認した。深さは現地表下約20cmである。As－Bを確認した深さが比較的浅かったのは、周辺の状況から土地改良のために多少の削平を受けていたためではないかと思われる。その下はHr-FPを含んだ黄褐色細砂層、As－Cを含んだ黒色粗砂層の順で堆積していた。トレンチ平面及び断面を精査し観察したが、遺構・遺物は確認されなかった。

１９　総社町高井字十郎８９－１ほか

開発面積　3,355㎡　　開発原因　店舗建設
調査日　平成15年11月18日
調査の概要

本開発予定地は前橋市北西部、榛名山南東麓の台地上に位置する。周辺部の遺跡としては、吉岡バイパスと県道南新井前橋線との交差点付近から総社高井十郎遺跡や高井桃ノ木遺跡といった奈良時代を中心とした遺跡が確認されている。

調査の結果、１トレンチ西端部、西端部から東へ約７ｍ地点、東端部の３カ所で現地表下約50cmの深さで住居跡を確認した。また２トレンチからも現地表下約50cmの深さで住居跡を確認した。このため、店舗建設による掘削範囲は建物全面には及ばない設計ではあるが、事業者に対し建物基礎部を掘削する際に工事立合を実施するよう依頼した。
(総社高井十郎Ⅱ遺跡)

２０　箱田町字西田１５６ほか

開発面積　6,502㎡　開発原因　宅地造成
調査日　平成15年11月19日
調査の概要

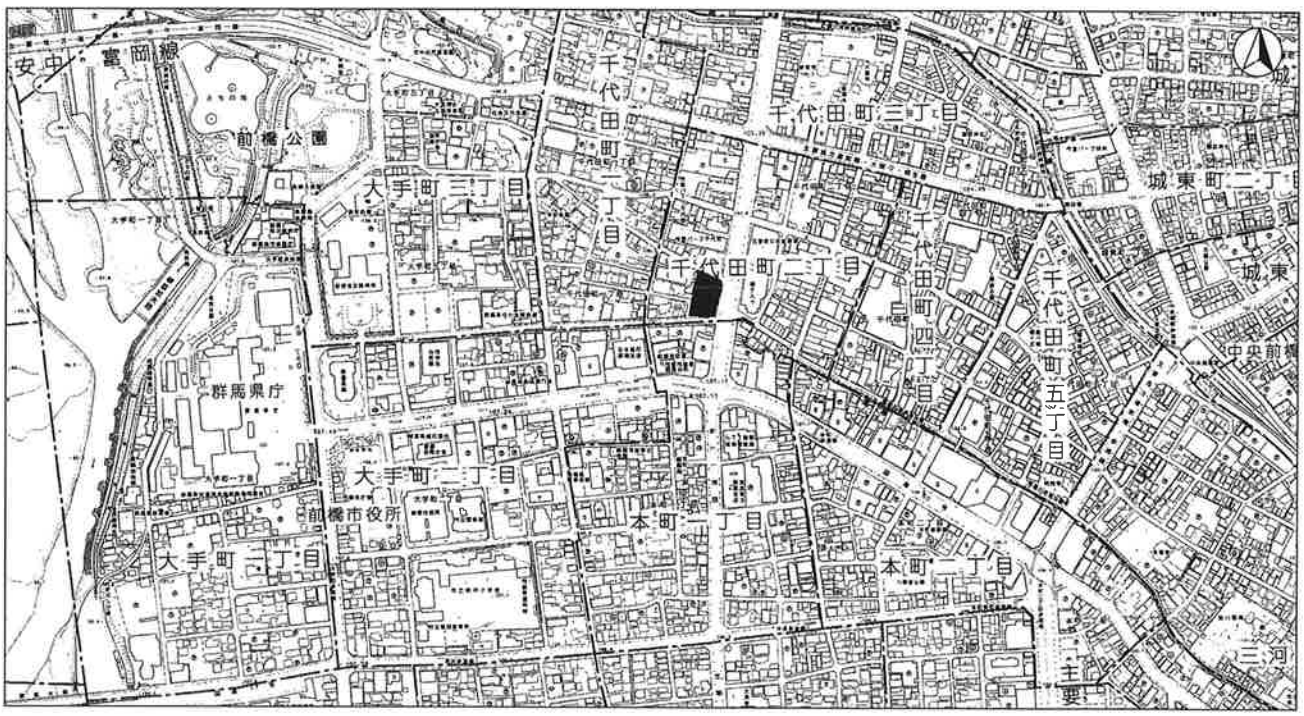
本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。この地域は、古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされ、現在でも条里制の一町（約108m）ごとの区割りが残っている。

調査の結果、現耕作土の直下にAs－Bが混入している灰褐色粗砂層が認められたが、As－Bの純堆積層は確認されなかった。また水田跡でよく確認される粘土質の黒色土層も認められなかったので、水田ではなく低地帯であった可能性がある。確認できたものとしては中世以降の溝状の遺構と土坑が認められたのみで、畦畔などは認められなかった。

２１　千代田町二丁目１

開発面積　1,689㎡　開発原因　マンション建設
調査日　平成15年12月1日
調査の概要

本開発予定地は前橋市街地の中心部に位置し、前橋城域と想定される範囲内にある。地形的には台地と広瀬川低地帯の境目であり、今回の調査は台地上の部分である。調査地は現在駐車場であり、１トレンチではアスファルト・バラスの下は土層が崩れた状態で、更に下には若干のAs-Cを含んだ暗褐色微砂層の地山が確認でき、その下には淡黄色微砂層という状態だった。出土したものとしては、崩れた土層の一部から瓦類を数点取り上げた。この崩れた状態が撹乱による破壊のためか、地形の落ち込みによるものか、何かを廃棄した跡であるのかは、それ以上東側に重機が移動できず掘削を続けられなかったため、詳細は不明である。この崩れた層の下には暗褐色微砂層が僅かに残っており、東側に傾斜していた。２トレンチでも土層の状況は１トレンチに準じる。地山と思われる層は現地表下約40cmで確認された。こちらのトレンチでは１トレンチで検出した瓦類などはなく、時代不明の土坑が２カ所あったのみである。両方のトレンチで確認できた地山の上層は崩れており、本来地山の上にある土層が確認できなかったが、これは河川の氾濫或いは後世の削平の影響を受けたものではないかと思われる。周辺部の調査で発見されている陶器の欠片なども確認されなかった。今回の調査では掘削範囲が狭く、遺構の有無の判断が難しいので、工事立合を行うよう開発者側と現在協議中である。



２２　荻窪町１００－１・１０１－１

開発面積　1,547㎡　　開発原因　携帯電話用無線基地局建設
調査日　平成15年12月12日
調査の概要

本開発予定地は前橋市北東部の赤城山南麓斜面に位置する。周辺部には新田塚古墳や縄文時代から中世までの集落跡などが発見された上泉唐ノ堀遺跡などがある。また近隣にある五代町でも工業団地成に伴い発掘調査が行われている。

調査の結果、現地表下約25cmは現耕作土で、その直下は明黄褐色微砂層（ローム土）となっており、本来あるはずの上層部は削平受けて消失していた。トレンチ平面及び断面を観察したが遺構・遺物は確認されなかった。

２３　元総社町字弥勒１１８１－３ほか

開発面積　2,474㎡　　開発原因　店舗建設
調査日　平成15年12月18日
調査の概要

本開発予定地は榛名山東南麓に広がる扇状地に位置し、開発予定地の東側には榛名水系の一つ染谷川が流れている。その右岸では奈良・平安時代の住居跡が確認された弥勒遺跡がある。

調査の結果、現地表下から約30cmは耕作土で、その下には厚さ約25cm～40cmの褐色細砂層、厚さ約10cm～20cmの暗褐色細砂層があり、この層から土器の破片が検出されるという状況であった。この暗褐色細砂層が遺物包含層と思われる。遺物包含層まで掘削し、トレンチ断面及び底面を精査・観察したが、遺構は確認されなかった。

２４　駒形町字西築場１４２０－２ほか

開発面積　1,737㎡　　開発原因　農産物加工場建設
調査日　平成14年12月19日
調査の概要

本開発予定地は前橋市南東部に位置し、広瀬川低地帯と呼ばれている場所であり、開発予定地の北側には広瀬川が流れている。

調査の結果、現地表下から約60cm～80cmは盛土で、その直下は非常にきめの細かい黄褐色微砂層で水性堆積層と思われる。更に深く掘削してみたところ、直径約5cm～20cmの石が多量に確認された。これらのことから、本開発予定地は以前は河川域であったことが考えられる。トレンチ平面及び断面を精査・観察したが、遺構及び遺物は確認されなかった。

２５　川曲町５０９－１ほか

開発面積　4,400㎡　　開発原因　道路新設工事
調査日　平成16年2月3日・2月4日
調査の概要

本開発予定地は前橋市南西部に位置し、高崎市との境界付近の水田地帯である。開発予定地の東側約200ｍには老人ホーム建設に伴い発掘調査が行われ、平安時代の水田跡（川曲毘沙門前遺跡）が確認されている。

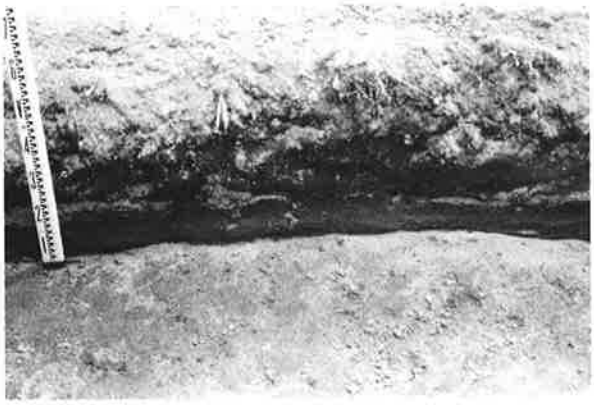
調査の結果、現地表下約20～30cmでAs－Bの堆積層が認められた。層厚は薄いところで約２cm、多いところでは約14cmほどであった。As－B層の直下は黒褐色粘質土である。As-Bを除去しつつ掘削したところ、水田畦畔の高まりが合計６条確認され、本開発場所が遺跡であることが判明した。現在来年度実施予定の本発掘調査に向け、関係機関と協議中である。（川曲地蔵前Ⅱ遺跡）

1. 東善町

2. 箱田町

3. 朝倉町

4. 野中町



5. 上佐鳥町

6. 上泉町

7. 総社町

9. 表町

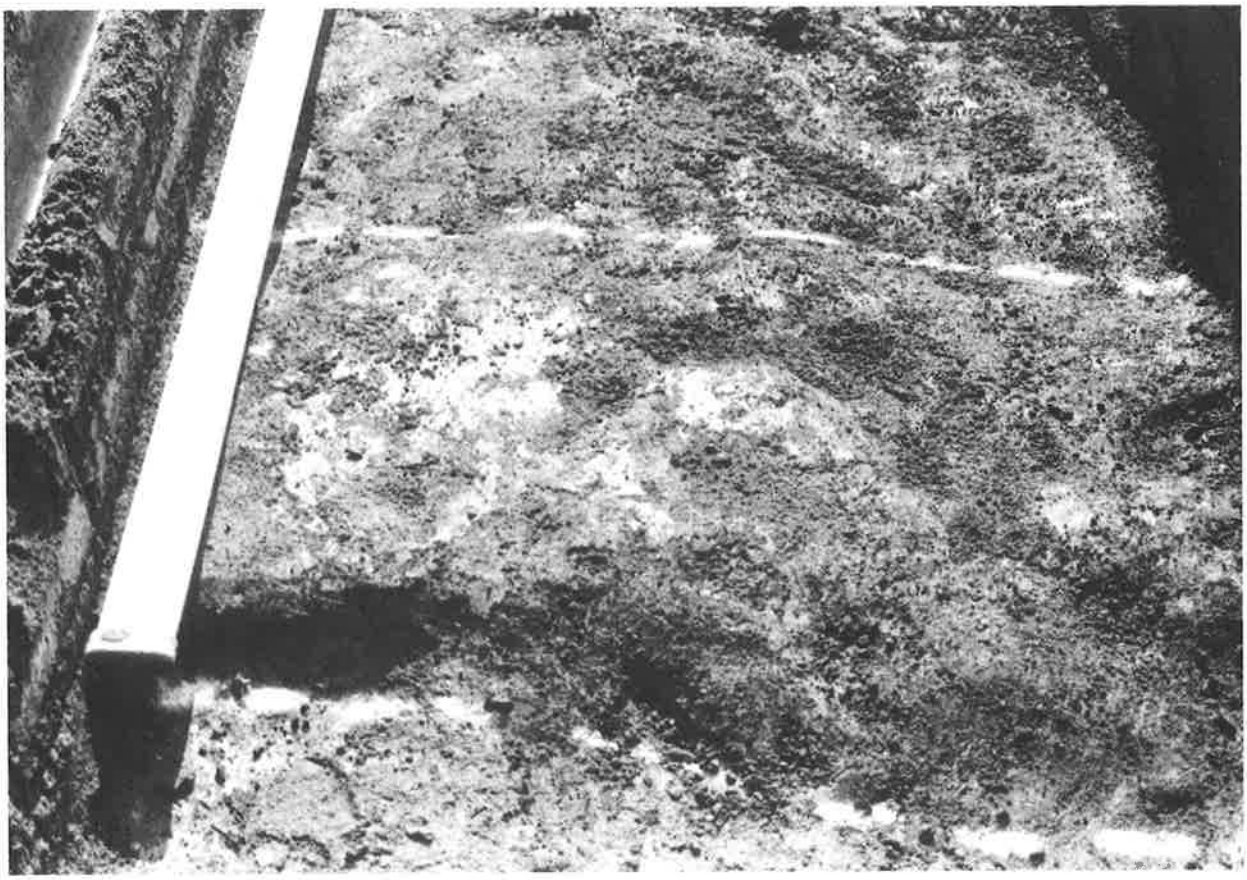
8. 上泉町

10. 西大室町

11. 文京町

12. 下沖町

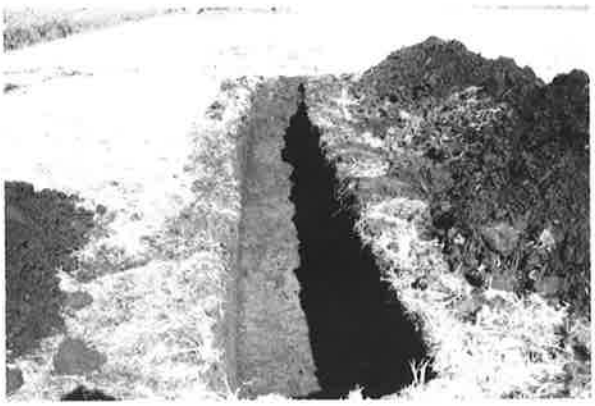
13. 天川原町



15. 亀里町

14. 西大室町

16. 鵜光路町



17. 上青梨子町

18. 清野町

19. 総社町

20. 箱田町

21. 千代田町

22. 荻窪町

23. 元総社町

24. 駒形町

25. 川曲町

平成15年度　市内遺跡発掘調査報告書

平成16年３月15日印刷
平成16年３月25日発行

発　　行　　前橋市教育委員会文化財保護課
前橋市三俣町二丁目１０－２
☎０２７－２３１－９５３１

3.30
受付